

科 目 名	保健・体育Ⅳ Health and Physical EducationⅣ			担当教員	有馬弘智・横山学		
学 年	4 年	学 期	通年	履修条件	必修	単位数	2
分 野	一般	授業形式	実技	科目番号	14220037	単位区別	履修
学習目標	様々なスポーツの運動理論を理解し、基礎技術を修得する。その種目のルールを把握し、それらのスポーツを実践できるようにする。また、スポーツテスト等で個人の体力・運動能力を把握し、それらの維持と向上をはかる。						
進 め 方	それぞれの種目の基礎技術は下級生の時に修得しているので、ゲーム中心の内容で授業を行なう。その中で各種目の運動理論をより深く理解し、個人の基礎技術の向上、審判技術のレベル向上を目指す。また、選択制度を取り入れ、自分の興味ある種目を選択させることで、社会体育への継続を目指す。						
学習内容	学習項目（時間数）			学習到達目標			
	1. 年間授業の概要説明(1) 【スポーツテスト】 2. 記録測定(3) 【ソフトボール・テニス・ゴルフ選択】 3. 選択授業の説明、種目の決定(1) 4. ゲーム（ゴルフは基本スイング）(18) 5. 実技試験(1) 6・体育祭(6) 【バレーボール・バスケットボール選択】 7. 選択授業の説明、種目の決定(1) 8. ゲーム(13) 9. 実技試験(1) 【サッカー・バドミントン・卓球・ソフトバレーボール選択】 10. 選択授業の説明、種目の決定(1) 11. ゲーム(13) 12. 実技試験(1)			年間計画を説明し、効率的にかつ安全に授業が行なえるようにする。 F2:1-4 毎年測定することにより、自分自身の運動能力を把握し、運動能力の向上を目指す。 F1:1-4 基礎技術を修得すると共に、ルールを把握した上で、自分たちで試合を運営できることを目指す。 F2:1-4, F3:1-5 体育祭において、個々の運動能力を発揮するとともに、他の学生と協調しながら積極的にスポーツに取り組む姿勢を養う。 F2:1-4, F3:1-5 1・2年時に基礎技術を修得しているので、ゲーム中心の内容で、チームの戦術の向上、審判技術の向上を目指す。 F2:1-4, F3:1-5 サッカーは、1・2年時に基礎技術を修得しているので、ゲーム中心の内容で、チームの戦術の向上、審判技術の向上を目指す。ソフトバレーボールにおいてはルールを把握した上で、自分たちで試合を運営できることを目指す。 F2:1-4, F3:1-5			
評価方法	各種目の実技試験と平常点（出席率、授業態度）で総合評価を行う。						
履修要件	特になし						
関連科目	特になし						
教 材	教科書「アクティブスポーツ」（総合版） 大修館書店						
備 考	特になし						